

## 1. 教育目標

現代の臨床医学において、臨床検査は全ての分野と密接に関連し、臨床検査無くして臨床は成り立たない。一方、臨床検査の理解を誤ると誤診のもとともなりかねない。そのため、臨床検査の基本的な概念や臨床的意義の理解、さらに病態解析を通じた新規臨床検査の開発や新規・既存の検査法の意義の評価などに必要な高度な研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うものとする。

## 2. 到達目標

(1) 各種臨床検査に関して臨床医のコンサルタント（” Doctor of doctors” ）として機能できる臨床検査医学の知識、技能、判断力を修得する。

(2) 検査室の指揮監督、精度管理（品質管理、技術管理、人事、機器管理、ISO15189 の取得と維持など）に必要な知識、技能を修得する。

(3) 臨床検査専門医にふさわしい研究（実験、学会発表、論文発表）を実施できる能力を修得する。

## 3. 成績評価の方法と基準

成績の評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、到達目標に対する達成度及び修得すべき基礎知識・技能の修得度により行う。

口頭試問の実施（60%）、発表・討議の内容（40%）

## 4. 教科書・参考書

特に定めない。必要に応じて参考資料などを配付する。

## 5. 準備学習

予習: 関連文献を検索し、知識を整理して授業・実習に臨むこと。(30分以上)

復習: 授業・実習内容を整理・確認しておくこと。必要に応じてノート・パソコンなどにまとめておくこと。(30分以上)

## 6. フィードバック方法

当該年度修了時に提出する「研究計画書」、または「研究進捗・指導状況報告書」などによりフィードバックを実施する。

## (第1学年・昼間開講)

## 【臨床検査医学】

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	研究経過報告と関連論文の抄読	朝倉主任教授 宮崎准教授	月曜/4限	通年	4	研究室または 共同セミナー 室
講義	EBMと臨床検査値 I	宮崎准教授	火曜/1限	半年	2	研究室または 共同セミナー 室
実験 研究	新規臨床検査開発へのアプローチ	朝倉主任教授 宮崎准教授 森本助教 中野助教	木曜/4・5限	通年	4	研究室
実験 研究	分子生物学的手法を活用した検査法 実習 (微生物遺伝子同定)	宮崎准教授 中野助教	水曜/4・5限	通年	4	研究室
演習	RCPC (ケーススタディ)	朝倉主任教授 宮崎准教授 森本助教 中野助教	金曜/1限	通年	4	研究室または 共同セミナー 室

## (第1学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	研究経過報告と関連論文の抄読	朝倉主任教授 宮崎准教授	月曜/6限	通年	4	研究室または 共同セミナー 室
講義	EBMと臨床検査値 I	宮崎准教授	月曜/7限	半年	2	研究室または 共同セミナー 室
実験 研究	新規臨床検査開発へのアプローチ	朝倉主任教授 宮崎准教授 森本助教 中野助教	木曜/6・7限	通年	4	研究室
実験 研究	分子生物学的手法を活用した検査法 実習 (微生物遺伝子同定)	宮崎准教授 中野助教	水曜/6・7限	通年	4	研究室
演習	RCPC (ケーススタディ)	朝倉主任教授 宮崎准教授 森本助教 中野助教	金曜/6限	通年	4	研究室または 共同セミナー 室

## (第2学年・昼間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
講義	EBMと臨床検査値 II	朝倉主任教授 宮崎准教授	火曜/2限	半年	2	研究室または 共同セミナー 室
実験 研究	新規臨床検査開発へのアプローチ	朝倉主任教授 宮崎准教授 森本助教 中野助教	木曜/3・4限	通年	4	研究室
実験 研究	分子生物学的手法を活用した検査法 実習 (微生物遺伝子同定)	宮崎准教授 中野助教	水曜/1・2限	通年	4	研究室

## (第2学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
講義	EBMと臨床検査値 II	朝倉主任教授 宮崎准教授	火曜/6限	半年	2	研究室または 共同セミナー 室
実験 研究	新規臨床検査開発へのアプローチ	朝倉主任教授 宮崎准教授 森本助教 中野助教	木曜/6・7限	通年	4	研究室
実験 研究	分子生物学的手法を活用した検査法 実習 (微生物遺伝子同定)	宮崎准教授 中野助教	水曜/6・7限	通年	4	研究室